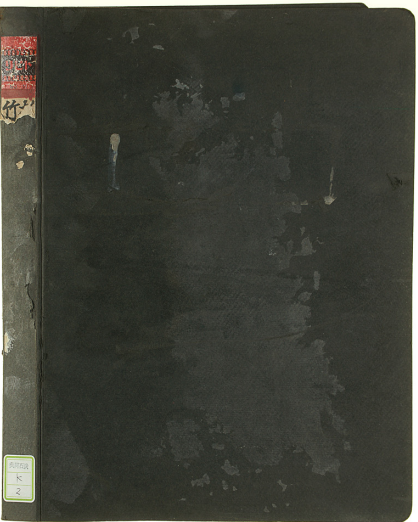


採登牙三七八号
租登牙六二四号外四

杉谷三坑
竹藪坑
鑛業施業案

四三福通炭業認第四三号
昭和四年七月三日認可

認 可 書

42 福通産業部 第 40 号

昭和 42 年 7 月 28 日

福岡 県 登録 商標 第 1278 号
祖 61414

日吉 炭 部
日吉炭部株式会社
代表取締役 大塚 隆夫

鉱業法第六十三條第二項の規定により 昭和 42 年 7 月

28 日附申請された 日吉 炭 部 炭 坑 の 登録 標 記 に

関する権業案は之を認可する

福岡通商産業局長 黒 部 稔



紫 藏 編 案 (合併、變更、追加)

供 岡 石 炭 産 業 株 式 會 社
日 本 炭 産 業 振 興 會 所



43
85 7 24
87. 12. 18
47. 11. 14

同日

日本炭産業振興會
新設支店入部部部

7 2
47
45 7



民部省
租税課
に對する届出書並に納税書等送附票



今届福岡県租税課登録第七五号租税区域の新築敷地および、福岡県租税課登録第七五
五の増加の届出申請により、当敷地の竹取乳および杉各二尺杭の租税区域の追加による税
金増徴案を別紙の通り作成致しましたので、事前審査万御取計い下さる様御願ひ申し上
ります。

昭和四十二年七月十四日

北九州市若松区本町一丁目九番十号

振込振替 福岡石炭販売株式会社

石代表取締役 入 交 太兵衛

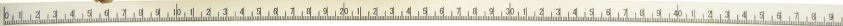
福岡県若松区若松町大字才出二二六番地

日吉辰夫

代理人 宮 川 茂

福岡県租税課長

届 部 課 課 長





所轄
區區に同する農業委員申請書（合併、変更、追加）

區區所在地
登録番号



區區名
日吉農

福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町
福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町
福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町
福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町
福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町
福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町	福岡県高橋郡、高橋町、高橋町、山田町

右農区に於て従来、福張登録二七七八号および福張登録六一四号、同六八七号、同
七五五号、同七五五号農区を合併銀行中の迄、今般福張登録七五五号農区増加
および福張登録七五五号を決定したので、右農区と合併福張登録七五五号農区増加
六五五号の決定により、関係書類および説明図を添えて申請致します。

三井物産

昭和四十二年 七月十八日

北九州市若松区本町一丁目九番十号

庶務担当

三井物産 共同石炭販売株式会社

右代表取締役

人 安 太兵衛

福岡県嘉穂郡新町大字才田二二六番地

日吉民蔵

代理人 吉 岡 茂 明

福岡県嘉穂郡新町

庶務担当

三井物産

昭和四十二年 七月十八日

福岡県嘉穂郡新町二二七八号

福岡県組 庶務担当 六一四号

全 部 六八七号

全 部 七五四号

全 部 七五五号

全 部 七七五号

三井物産

共同石炭販売株式会社

右代表取締役 人 安 太兵衛

日吉民蔵

代理人 吉 岡 茂 明

安 夏（合併、安夏、追加）御面會

三井物産

昭和四十二年五月二十九日付四〇福岡県嘉穂郡六八号より認可を受け、換領中

A horizontal ruler with markings from 0 to 40 centimeters. The markings are in centimeters, with major ticks every 1 cm and minor ticks every 1 mm. The ruler is placed below the text.

十七字部人

二級山および石炭坑の名称

日吉炭坑

六字部人

目的とする鉱物の名称

石炭 (今延申郡)

耐火粘土

五字部人

炭坑または炭坑に關する事項

富良野十太の内の第一 三 堀 地質調査所

甲種区域の地質は概ね花崗岩に封じ、砂岩、砂岩、砂岩、砂岩、砂岩の五層より構成されている。この間に介在する炭坑層は、風方層群であり、上部より竹谷層群、本層群、大炭層群の三炭層が賦存している。
 本層群は甲種区域域外にあり、該地所有炭坑 (笹登、二七八号) の北部に竹谷層群南部に本層群、炭坑外に大炭層群の各炭層がある。
 大炭層は概ね北西から南東に走り、北東の富良野区域域内につて約二〇度傾斜している。従つて甲種区域は全炭層群が賦存している。

十八字部人

本層群は甲種区域域外の富良野市に賦存する。上部より約一八八メートルの厚さの八立入層群、炭上り約一〇メートルの白金層群、炭上り約一八メートルの日吉層群、炭上り約八メートルの八立入層群、炭上り約五メートルの右衛門二片層群がある。
 以上の層群は概ね南北に走る正断層であり、北部に延びるに従ひ落差は小さくなる傾向がある。
 本層群中の下部炭層である、コイモリ五尺、下二尺、土間八尺、海軍八尺の四炭層は火成岩の侵入を受け、錳、銅石と炭質が変化し、炭層もボケツト状を呈する現象が多い。
 炭層の間は、竹谷層群、本層群間は約一〇〇米、本層群、大炭層群間は約一五〇米である。

之主要な炭層の位置、走向、傾斜および厚さ 富良野十太の内の第一 四 堀 炭層柱状図参照
 富良野区域の南西側の炭層は、本層群中の上部炭層である、杉谷上二尺層、杉谷下二尺層、杉谷本層、岡三尺層及び下部炭層であるコイモリ五尺層、下二尺層、土間八尺層、海軍八尺層の八炭層にして走向は概ね五一度、北東に向つて約二〇度傾斜する。各炭層共、全区域に亘つて賦存している。
 炭層の厚さは凡そ左記の通り

杉谷上二尺層	山丈 101.0米	炭式 294.0米	(本層群上部炭層、参照)
杉谷下二尺層	山丈 101.5米	炭式 291.5米	竹炭坑より採取
杉谷本層	山丈 115.0米	炭式 340.0米	
岡三尺層	山丈 116.0米	炭式 340.0米	

[illegible]

▲竹垣筑の

▲竹園街紅綠燈力透

本層の上部炭層である杉谷上二尺層、杉谷下二尺層、杉谷本層、間三尺層の四炭層は現在掘行中の竹紋坑より採炭する。

該坑は昭和十七年二月二十日開坑し、昭和四十年五月二十九日付國〇權通關第
四六八号（最終通關案）を以て通關案の認可を受け、主として現在杉谷上二
尺層、杉谷下二尺層の二坑層を採掘場中の石炭坑である。

本館坑口は現在の坑口で、鉱区標（標登第ニ二七八号以下同じ）第十八号より方位三〇四度六分、距離二八六米（本平圖層以下同じ）の位置である。

排氣口も現在の坑口で、紙区標高十八号より方位三〇九度二九分、距離五七七メートル、七米の位置である。

人道死口は現在の死口で、飯区距離十八キロ四方、位置一〇二度二分、距離一七セキの位置である。

竹田田川新屋部の竹藪八尺一竹藪八尺上座竹藪八尺本座の竹藪八尺

杉谷上二尺層、杉谷下二尺層、杉谷本層の掘削方法、（杉谷上二尺層の内、
甲田区域の杉谷上二尺層、杉谷下二尺層、杉谷本層の掘削方法は現在設定し
ている主幹坑道である、杉谷本層を利用して採炭を実施する。

杉谷本郷は現在の跡地点（図示A点）より、その後の杉谷本郷方面（方位

二五字神人

同移卷上二尺

林智鴻

五度〇分）で傾斜一六度、加骨二四二米×二二米にて岩石五米埋出し、植栽区画（調査区画五米）にて中止する。

杉谷調査地は現在の集落地点（左七片調査点）よりその後の杉谷調査地方面（方位一五度〇分）傾斜一六度、加骨二四二米×二二米にて一三米埋出し、左九片と道路の上中止する。

片敷坑道（加骨二四二米×二二米、又は二八二米×二二米）は、杉谷本郷、右部郷は現在、右八片、右九片、右十片、右十一片の片敷を杉谷上二尺層沿道にて設定しているで該片敷を利用し、層部に水平立入坑道を掘るくし、杉谷下二尺層に増設の上、全層の沿道にて杉谷下二尺層の片敷を設定する。

杉谷本郷調査地の今議の新集区域は現在の杉谷本郷郷（A点）より左部へ左九片、調査地より層部五十米の位置に左八片を設けする。

左八片は垂直十六米の新集切り後、杉谷上二尺層に増設するので沿道にて二一〇米掘るくし、調査区画（調査区画五米）に達するので中止する。

右九片は垂直十六米の新集切り後、杉谷上二尺層に増設するので沿道にて二四〇米掘るくし、調査区画（調査区画五米）に達するので中止する。

右記二片層共本郷より五五米の位置より層部に水平立入坑道を掘るくし、杉谷下二尺層に増設せしめ、全層の片敷を設定する。

右十一片層部はイスト層を設け、右十二片を掘設する。

例三三層の掘設方法 昭和十六年の内 七 葉 竹炭坑、例三三層の掘設方法

例三三層の掘設は調査地である杉谷上二尺層又は杉谷下二尺層の各片層坑道より層部に水平立入坑道を掘るくして、例三三層に増設せしめ、増設後は沿道にて走向方向に掘進し、各片層を設ける。右十一片及び左九片下部の掘設は上層片層より沿層坑道によるイスト坑道を設け、左十片、右十二、右十三片を設定し掘設を完了する。

支柱方法

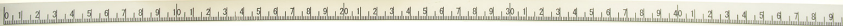
本郷及排気調査地の支柱は通常鉄鋼で、鋼は木鋼とする。片層坑道は木枠を取付け、必要に応じて鉄線を使用する。

長機坑における支柱は鉄柱カブを使用し、坑壁は四壁を利用し、手被坑壁を行い層及根に突水機、中間に調査の等状坑壁を行うか、或は等状坑壁なしの跡ばらしの方法による。

昇降往時式採炭掘削の支柱は坑木の割合枠を行うか、必要に応じて型木壁、及型木壁又は逆等坑壁を築造する。

掘設方法

杉谷上二尺層、杉谷下二尺層、例三三層の掘設は長機坑（掘設長四五〜六五米）で掘設を築造することを原則とする。同部区域については昇降往時式（切羽五〜六米）の掘設方法による。



以上の方法により幹線計画を完成せしめ、主間八尺間の片縁を右部に右二十五片より右二十八片迄の四片幅を設定する。

片船構造は槓として三〇〇四五米とする。
片船構造（船首）ハ二米×（ハ二米）の長さを最大四三〇米、最小一一〇米である。
海軍ハ尺船の片船は現在土師ハ尺船に改造している片船及び、右記計画片船より周長ハ立入れ水平軌道を測るくし、海軍ハ尺船に海没せしめ、沿海軌道を設け陸奥を築造する。
柱方法
各同軌道の支柱は通常鉄梁で、鋼は木脚とする。
片船構造は木脚を原則とし、必要に応じて鉄梁を使用する。
切羽の支柱は通常杭木の舟倉中で行い、陸奥線には必要に応じて空木脚、築木柱、又は鋼骨支柱を築造する。
炭方法
炭定車脚炭庫である、コノセリ五尺船、下二尺船、土師ハ尺船、海軍ハ尺船は細鋼、鋼石に変化しているものと推定されるので、細石細鋼に即成した舟車炭柱杭（通称ガナット運搬）を築造する。
切羽柱は二二六米で炭状の炭倉炭庫を築造し炭庫とする。
切羽採炭はエアードリルを使用し、炭層採炭をなす。
その他の区域については既述可細炭庫による。

或一趙國史亦時有子短其貌

一八〇〇〇屯(月租一五〇〇〇屯)

内訳左記の通り

[illegible]

二 第六〇〇〇電（月租五〇〇〇圓） 五反田臨天坑 二四〇〇電（月租二〇〇電）

内通費に關する事項 別紙第十六葉の内 第十三葉 通気、排水、灌漑系統図参照

五竹藏坑

幹線汽道は一五五軌条、片側は一〇五軌条を敷設し、軌間はQ五五米である。

用する。

研究主眼を透視（二〇〇馬力平調）を坑口より一五〇本の位置に設置しているのを、透視路並により寸法元尺内の出射は、すべてこれにて成るべきと要出する。

印坑内通微

片粉の巻立より乳外に巻掛け、原液ボケツトのチツプラまで運搬す。

片断製造は通常、近距離の場合に手具溶解、距離の増大に伴い、ホイスト巻を使用する。

河野 八

前述の如く当初養蚕鉄道は土間八尺路に敷設してゐる片部及び、右記計画片部より周部へ立入れ水平軌道を敷くとし、海軍八尺路に敷設せしめ、沿路既道を越け採炭を興隆する。

支柱方法
各側軌道の支柱は通算鉄梁で、鋼は木脚とする。
片部既道は木脚を風脚とし、必要に応じて鉄梁を使用する。
河野の支柱は通常既道の割合で行い、鋼梁脚は必要に応じて、堅木脚、又は鋼骨充列を興隆する。
採炭方法
設想兩路既道である、コイモヲ五尺路、下二尺路、土間八尺路、海軍八尺路

五一年間における予想出炭量

一八〇〇〇屯 (月間一五〇〇屯)

内訳左記の通り

竹 炭 炭 大 四〇〇〇屯 (月間五〇〇〇屯) 一 炭 一八〇〇屯 (月間一五〇〇屯)
杉 炭 二 炭 七〇〇〇屯 (月間八五〇〇屯) 海 八 炭 一八〇〇屯 (月間一五〇〇屯)
二 炭 五九〇〇〇屯 (月間二二〇〇〇屯) 五反田縣天炭 二、四〇〇屯 (月間二〇〇〇屯)

二五半海人

八五五五に關する事項 別紙第十大圖の内 第十三圖 通氣、排炭、通氣系統圖参照

△竹 炭 炭

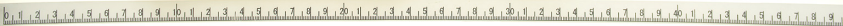
幹線既道は一五五軌条、片部は一〇五軌条を敷設し、軌間は四五五米である。
炭車は容量Q六六立方メートルの木製炭車、およびQ七二立方メートルの鉄製炭車を混合して使用する。

坑外主要巻揚機 (二二〇〇馬力単位) を坑口より一五〇米の位置に設置してゐるので、既巻揚機より竹炭坑坑内の出炭は、すべてこれによつて坑外に搬出する。

坑内運搬

本坑方面の両側はすべて前記坑外に設置してゐる、二二〇〇馬力主要巻揚機で、各片部の巻立より坑外に巻揚げ、取扱ボックツのチャップラまで運搬す。

片部既道は通常近距離の場合は手押運搬、距離の増大に伴い、ホイスト巻を使用する。



別開運搬は杉谷上二尺層、杉谷下二尺層及間三尺層の長機板においては、一〇トニ
〇馬力のV型エンジンを使用し、戸開口まで流し奥車に受ける。

井筒往形式別開運搬は各層共にトラフ又はスラを使用し、戸開口まで人力にて運搬
し、炭車に積込む。

四 坑外運搬

坑外に搬出された石炭は原炭ボックツナツアラで転搬され、水洗機により潤滑す
る。精選された精炭は貯炭庫に入れ、貯炭庫より送炭機に受け輸送機まで約九五

〇米を五〇馬力エンドレス等で運搬し、機関より流込みにより貨車積みとする。

四 坑外運搬

簡便坑外主要設備によつて搬出された坑内炭及水洗後の水洗炭は現在の坑外セ
ミ馬力炭車等機で受け、炭ボックツに搬入する。

搬入された炭は約五〇〇米離れた才田炭場までダンパー（大転落）により運
搬し搬送する。

五 杉谷二尺炭

幹線坑道には一五匹馬力、片側は一〇匹馬力を敷設し、軌間は四五米である。

炭車は容量四六立方メートルの本炭炭車および四七立方メートルの設備炭車を混合して使用
する。

別開運搬である炭運区域の主要設備は同一の坑内設備（五〇〇馬力車）により
下層中層坑道（本層）を幹線坑道とし層間の第八本層に運搬し、製炭設備（二〇〇馬
力車）により上面中層坑道まで運搬する。

以上の形式中層された坑内出炭を坑外主要設備（二〇〇馬力車）により坑外に搬
出する。

六 坑内運搬

坑内の出炭はすべて簡便の短く中層の上面坑外に設置している二〇〇馬力主要設備機に
より坑外に受け、炭ボックツのナツアラまで運搬される。

井筒往形式別開運搬はトラフ又はスラを使用し、戸開口まで人力にて運搬し、炭車に
積込む。

片側坑道は適當距離の場合に手押運搬を原則とするも、距離の増大に伴いマイスト
ックを使用するものとす。

七 坑外運搬

坑外に搬出された石炭は原炭ボックツ、ナツアラで転搬され潤滑機により潤滑する。

精選された精炭は貯炭庫に入れ、貯炭庫より送炭機に受け輸送機まで約九五〇米を五
〇馬力エンドレス等で運搬し、機関より流込みにより貨車積みとする。

八 坑外運搬

簡便坑外主要設備によつて搬出された坑内炭及水洗炭は、現在の坑外セミ馬力炭車

二五季火入

ラインに依り、マイナス五機（毎時六六電）を特粉として精製機に送る。
 アラス五機はグイスインチに溜溜する。又最初のシンマースクリンより出たブラ
 スニコ機（毎時五七電）精製はピヤンダバンドに溜溜する。
 手溜溜（毎時二五電）は便便に溜溜される。
 精製の（毎時五七電）は一〇〇機トロンメルを溜溜してベルトコンベヤーで精製機へ送
 る。
 トロンメルを溜溜したマイナス一五機（毎時二二電）は第二のシンマースベルトコンベ
 ヤーで送られる。
 取戻機位八〇〇カローリ、精製機位八〇〇カローリ、戻分二五機、通炭多留九二
 である。

八 換機上の危害予防に關する事項

八 通氣、排水、照明および炭酸に關する事項

八 通氣 別表第十六表の内 第十三 通氣、排水、通炭多留九二

八 竹葉氣

通氣方法は本節を大氣とし、各部内を通氣して排氣機を送り、排氣機口より坑外
 へ排出する。
 通氣機口は二〇〇馬力、負圧二二〇機、風量二五〇〇立方メートル分の抽吸機
 コロコロ風機を稼働している。

通氣機は本節を大氣とし、各片毎より切替を経て、通炭道を送り、排氣機に送
 給して排氣機口より排出する。

通氣機は必要に応じて門扉を設け通氣管理を行う。
 御および片毎通炭等の局部通氣は局部通氣機による。

通炭道は炭酸の換氣を速行に行い、通炭改修につとめ、瓦斯自然発火等に關する予防
 をする。

八 杉谷二尺坑

通氣方法は本節を大氣とし、各部内を通氣して排氣機を送り、排氣機口より坑外
 へ排出する。

通炭道は炭酸の換氣を速行に行い、通炭改修につとめ、瓦斯自然発火等に關する予防
 をする。

昭和十一年

昭和十一年

昭和十一年

昭和十一年

昭和十一年

昭和十一年

昭和十一年

昭和十一年

昭和十一年

昭和十一年

昭和十一年

昭和十一年

昭和十一年

昭和十一年

昭和十一年

昭和十一年

従つて三井鉱山株式会社に対し、戦時軍需賠償保証金として現在約四萬一千万円を創立する。

その都度賠償は、三井鉱山山野事務所の指示に従ひ、前記積立金とは別途に支払い、日當の払當を協議してゐる。

④ 被害の防止のための施設に關する事項

(イ) 貯炭場および捨石のたい場場の位置および構造

竹炭貯炭場は炭貯炭場を水洗炭場の近くの上部に約二〇〇屯の水澄作りを有し、水洗炭場の下には約二六七〇屯の鉄筋コンクリート作りの懸架貯炭場を有している。捨石は現在使用している才田便所場を利用する。

その方法は前述（炭外便所場）の通りで、便ボクワットよりダンパーで運搬、捨炭する。

その積積予定量は約二九四〇〇立方メートルである。

該地区附近には、民家および公共施設等の物件はなく、用地は社有地で被害は現れないが、若しその置れる時は土留、石壁、鋼等の防護施設を行い、地盤り、崩壊等の予防工事を要す。

杉谷二尺炭貯炭場は前記炭場の近くの上部に約六五屯の木澄作りを有し、水洗炭場下には約二九〇屯の鉄筋コンクリート造りの懸架貯炭場を有している。

捨石は前述の方法（炭外便所場）及前記の通りで捨炭する。

⑤ 貯炭水、用水、水洗場に関する施設施設に關する事項

竹炭炭場内より排水された炭内水は炭外にあるコンクリート造りの沈清槽に入れ、使用水および水洗用水として使用する。

水洗炭場の設備については、式淨速炭機により炭粉回収機と分離し、一處、排水沈清槽に送り、オーバーした汚水は他の沈清槽に導き浄化の上、排水専用コンクリート戸棚を通じて約九〇〇米離れた才田川に流入する。その排水量は一日約三〇〇立方メートルである。

杉谷二尺炭場内より排水された炭内水は、炭外にあるコンクリート造りの沈清槽に入れ、使用水および竹炭水洗用水として使用する。

杉谷二尺炭場における施設は、炭場の備石専用炭機（総二〇屯）に於て、運炭の形に記述した通り、備石の手廻り、給排等を行い処理する排水炭機による運炭を行なうので、炭炭排水は全然ない。従つて排水に關しては問題はない。

水洗炭場に関する被害は炭炭に於ては、現在排水設備をなしているから問題は起らないので別に必要でない。

⑥ その他

杉谷二尺炭場側による被害は、炭炭方法にも記述した如く、備石の特異性で炭炭に賦存しているので炭炭炭のみ部分採掘（約二五メートル）であるので炭炭炭下は皆無であると推定される。

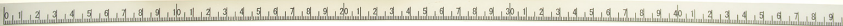
昭和十二年七月二十八日
 共同石炭鉱業株式会社
 社長 入 交 太兵衛 殿
 貴社所有の福岡県深瀬郡登母第二四九〇号敷区内（第一生産炭坑）に福岡
 県組炭坑登録第七五号炭坑の新設設定および福岡県組炭坑登録第七五
 五号の増加に係る昭和四十二年七月二十八日付変更商業案を貴社（日吉炭
 坑）に於て申請に同意します。
 但し所轄官庁の指示により訂正する場合は連絡願います。
 昭和四十二年七月二十八日

同 意 書



共同石炭鉱業株式会社
 社長 入 交 太兵衛 殿

株式会社新生炭産所
 社長 大 西 重吉 啓



同 業 者

当座所有の預り株主債権登録簿二四九〇号区域内（第一種非課税）に船岡
電機造船株式第七五号区域の新設追加および船岡電機造船株式第七五
五号の追加に係る昭和四十二年七月十八日付変更調書等を貴社（日清汽
船）に於て申請に同意します。

但し所轄官庁の指示により訂正する場合は通知いたします。

昭和四十二年七月二十八日



株式会社船岡電機

社長 大西 重吉



共同右記船岡電機株式

社長 大西 重吉

鉾業施業案添附圖

第十六葉の内 第一葉 租口 鉾區圖

縮尺 五千分ノ一

第二葉 鉾區關係圖

縮尺 五千分ノ一

第三葉 地質圖

縮尺 五千分ノ一

第四葉 炭層柱狀圖

縮尺 六十分ノ一

第五葉 炭量計算圖

縮尺 三千分ノ一

第16号の丙1号 租 領 区 図



昭和42年7月28日

福岡通商産業局長 部

区 指 加

租 領 権 喪 失 申 請 の 認 可 に つ い て (差 出)

租 領 権 喪 失 申 請 第 2 号

昭和42年7月20日 出 発

福岡 嘉穂郡 穂積町 1 号 地 内
全 県 地 籍 権 喪 失 第 247 号 石 炭 部 土 持 地 租 領 区 図 にか け
全 県 地 籍 権 喪 失 第 735 号 租 領 区 図 の 指 加 申 請

存 続 期 間 設 定 登 録 の 日 か ら 昭 和 43 年 3 月 31 日 まで

租 領 権 者 共 同 石 炭 鉄 業 株 式 会 社

株 主 租 領 権 者 株 式 会 社 漆 土 鉄 業 所

上 記 申 請 は 租 領 区 図 の 区 域 に つ い て 認 可 し ま す。

第 16 号 租 領 区 図 第 755 号

昭和 42 年 7 月 28 日 登 録

順 位 符 号 表 順 部 之 番

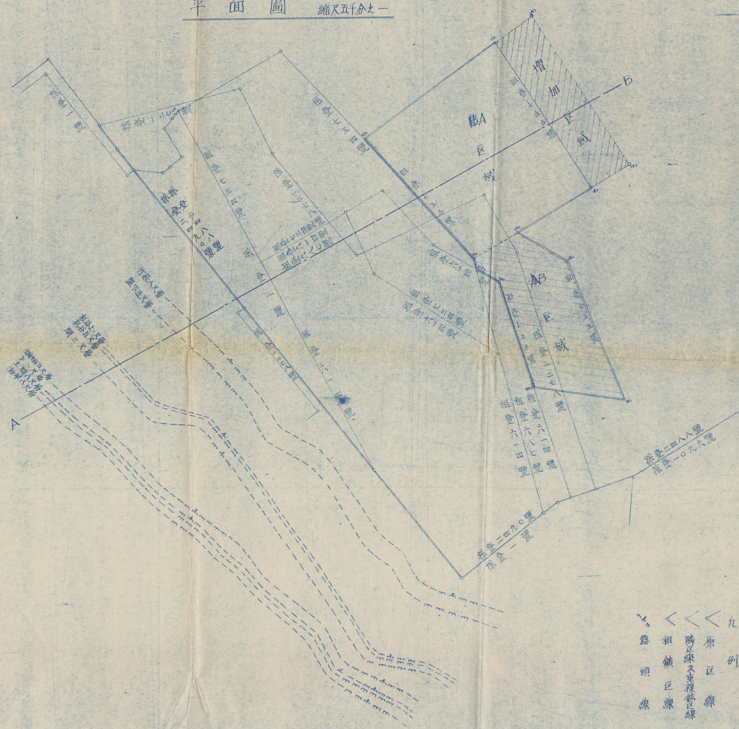
上 記 登 録 済



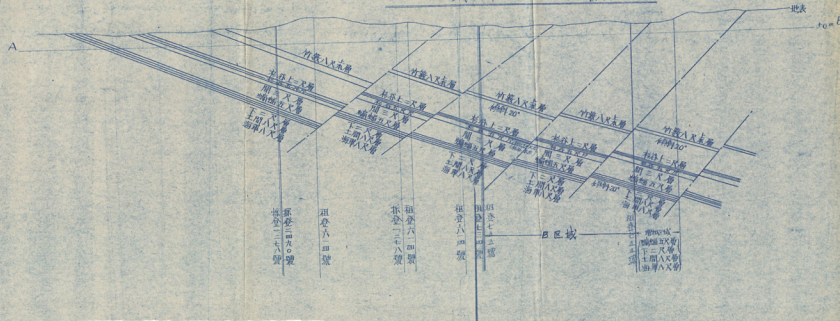
濟查審

原鉄区境界
 檀越區武志澤界
 和鐵區境界
 大井町
 字
 逆河
 堤澤
 山
 田
 橋
 建
 神
 井
 上

平 面 圖 縮尺五千分之一



A-B 截断面圖 縮尺五十分之一



凡例

- | | |
|---|---------|
|  | 凝 青 炭 |
|  | 燧 石 |
|  | 炭 質 頁 岩 |
|  | 火 成 岩 |
|  | 砂 岩 |
|  | 頁 岩 |

登録第 755 号
42.7.28
福岡通商産業局

濟 杏 寒

	担	收	通	城	內	紙	款
	張	方	斤	斤	斤	斤	張
一	1	1	1	1	1	1	張
二	1	1	1	1	1	1	張
三	1	1	1	1	1	1	張
四	1	1	1	1	1	1	張
五	1	1	1	1	1	1	張
六	1	1	1	1	1	1	張
七	1	1	1	1	1	1	張
八	1	1	1	1	1	1	張
九	1	1	1	1	1	1	張
十	1	1	1	1	1	1	張
十一	1	1	1	1	1	1	張
十二	1	1	1	1	1	1	張
十三	1	1	1	1	1	1	張
十四	1	1	1	1	1	1	張
十五	1	1	1	1	1	1	張
十六	1	1	1	1	1	1	張
十七	1	1	1	1	1	1	張
十八	1	1	1	1	1	1	張
十九	1	1	1	1	1	1	張
二十	1	1	1	1	1	1	張
二十一	1	1	1	1	1	1	張
二十二	1	1	1	1	1	1	張
二十三	1	1	1	1	1	1	張
二十四	1	1	1	1	1	1	張
二十五	1	1	1	1	1	1	張
二十六	1	1	1	1	1	1	張
二十七	1	1	1	1	1	1	張
二十八	1	1	1	1	1	1	張
二十九	1	1	1	1	1	1	張
三十	1	1	1	1	1	1	張
三十一	1	1	1	1	1	1	張
三十二	1	1	1	1	1	1	張
三十三	1	1	1	1	1	1	張
三十四	1	1	1	1	1	1	張
三十五	1	1	1	1	1	1	張
三十六	1	1	1	1	1	1	張
三十七	1	1	1	1	1	1	張
三十八	1	1	1	1	1	1	張
三十九	1	1	1	1	1	1	張
四十	1	1	1	1	1	1	張
四十一	1	1	1	1	1	1	張
四十二	1	1	1	1	1	1	張
四十三	1	1	1	1	1	1	張
四十四	1	1	1	1	1	1	張
四十五	1	1	1	1	1	1	張
四十六	1	1	1	1	1	1	張
四十七	1	1	1	1	1	1	張
四十八	1	1	1	1	1	1	張
四十九	1	1	1	1	1	1	張
五十	1	1	1	1	1	1	張
五十一	1	1	1	1	1	1	張
五十二	1	1	1	1	1	1	張
五十三	1	1	1	1	1	1	張
五十四	1	1	1	1	1	1	張
五十五	1	1	1	1	1	1	張
五十六	1	1	1	1	1	1	張
五十七	1	1	1	1	1	1	張
五十八	1	1	1	1	1	1	張
五十九	1	1	1	1	1	1	張
六十	1	1	1	1	1	1	張
六十一	1	1	1	1	1	1	張
六十二	1	1	1	1	1	1	張
六十三	1	1	1	1	1	1	張
六十四	1	1	1	1	1	1	張
六十五	1	1	1	1	1	1	張
六十六	1	1	1	1	1	1	張
六十七	1	1	1	1	1	1	張
六十八	1	1	1	1	1	1	張
六十九	1	1	1	1	1	1	張
七十	1	1	1	1	1	1	張
七十一	1	1	1	1	1	1	張
七十二	1	1	1	1	1	1	張
七十三	1	1	1	1	1	1	張
七十四	1	1	1	1	1	1	張
七十五	1	1	1	1	1	1	張
七十六	1	1	1	1	1	1	張
七十七	1	1	1	1	1	1	張
七十八	1	1	1	1	1	1	張
七十九	1	1	1	1	1	1	張
八十	1	1	1	1	1	1	張
八十一	1	1	1	1	1	1	張
八十二	1	1	1	1	1	1	張
八十三	1	1	1	1	1	1	張
八十四	1	1	1	1	1	1	張
八十五	1	1	1	1	1	1	張
八十六	1	1	1	1	1	1	張
八十七	1	1	1	1	1	1	張
八十八	1	1	1	1	1	1	張
八十九	1	1	1	1	1	1	張
九十	1	1	1	1	1	1	張
九十一	1	1	1	1	1	1	張
九十二	1	1	1	1	1	1	張
九十三	1	1	1	1	1	1	張
九十四	1	1	1	1	1	1	張
九十五	1	1	1	1	1	1	張
九十六	1	1	1	1	1	1	張
九十七	1	1	1	1	1	1	張
九十八	1	1	1	1	1	1	張
九十九	1	1	1	1	1	1	張
一百	1	1	1	1	1	1	張

福園具共九州府 昭忠堂分祠
忠貞北番槍

捐糧督者 共同石炭鎮字號式合社

在英京總役 入交銀金地 大兵衛

福園果是德御前染付 寺名 田次郎金地

右代埋人 吉川 茂

福園并其親御前染付寺名喇監五左衛地

托振板者 株式會社 隆生鐵業所

有安殿總役 大西 重吉現

452

42 胡适文选 第 7 卷 13

共計五卷 共計五卷

福州通商産業局長 吳 鼎

1472

42 46 34 41

和気権設定申請の認可について（通知）

7 0 42 7 月 20 日 申 酉

備註 嘉祿郡 柏原町地内
全果持据播磨録第249号石灰・耐大粘土板掘録区に於て
粗粒塊 既交申請

存続期間 設定登録の日から第43年3月31日時まで

租 賃 権 者 と
な り と す る 者

編輯者 株式会社 達生鉛筆所

登記申請は、別紙後面の区域について認可します。

福州縣 雄雞鼓第775号

昭和42年7月28日登録

順位番号 21 番

上記

卷之四

上記登録済

祖鑛區域圖

縮尺五千分の二

福岡県 嘉穂郡 稻築町

大字平
昆崙山林原野田畑宅地

面積 三百二十六アル

石炭 耐火粘土

△福通租

審查済

福岡県北九州市若松區本町二丁目九番拾号

租鐵業者と
共石炭鐵業株式會社

入交 太矢衛

福果嘉應鄧相張時太老田貳貳叁

右代理人 吉川 洋

福鼎縣志卷之四 學校志

振社木者 整會社 添生齋

大西重吉



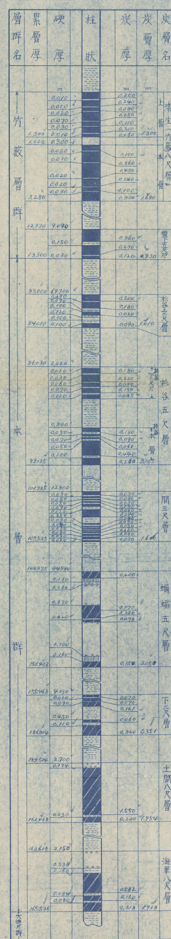
位置域原点に依る

上開 川 田 山 河 道 大 市 祖 原
 墓 神 建 部 橋 田 山 河 道 大 市 祖 原
 社 物 落 地 林 防 池 川 路 界 界 界 界
 地 社 物 落 地 林 防 池 川 路 界 界 界 界

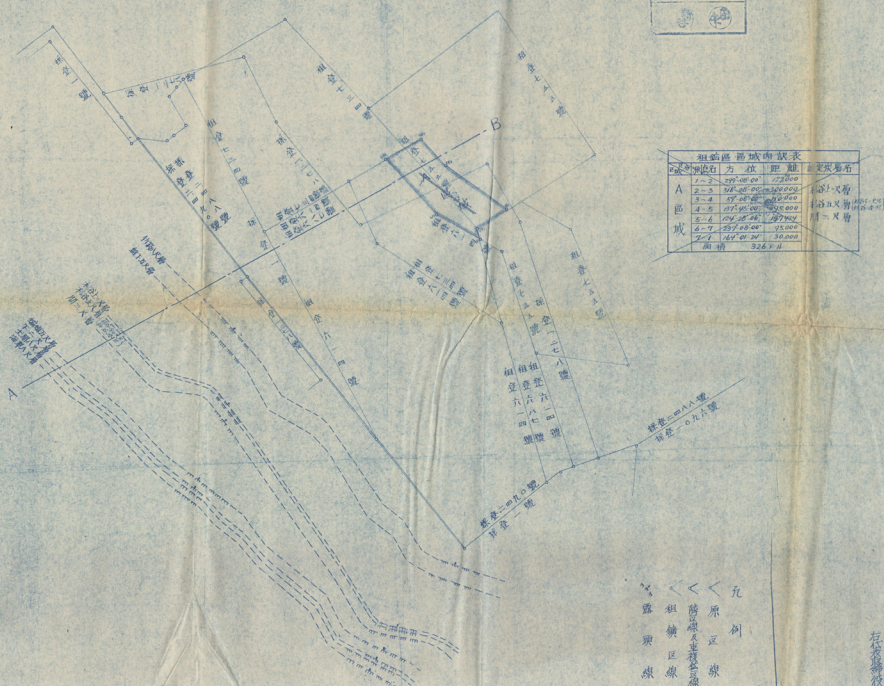
42 租通租
第 2 号

平 面 圖 縮尺五千分之一

濟 查 審



笠置縣



九
創

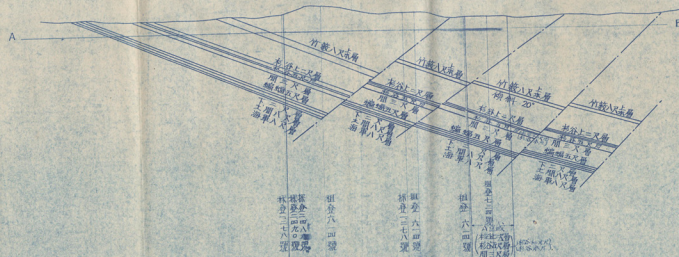
< 原 豆 線

< 蔣 公 碑 文 堂 祠 公 祠

< 祖 龕 巨 線

< 露 東 線

A-B 截断面圖 縮尺五十分之一



丸 例

- | | |
|---|------|
|  | 滙青炭 |
|  | 燭石 |
|  | 炭質頁岩 |
|  | 火成岩 |
|  | 砂岩 |
|  | 頁岩 |

福園果北州市 若松區本町三丁目九番拾号
和蘭料理 共同尼采藥業株式會社
社長兼役員
坂倉勝役
右代理人 吉川茂
福園果是櫻井福壽町大字目貳貳番地
植樹果是櫻井福壽町大字第五五番地
担任権者 榮倉社・浜生鎮雄并外
右取締役 大西重吉郎

明治四十六年

第十六葉の内 第二葉



鑛區關係圖

縮尺 五千分の一



鑛業権者
昭和勸業
伏見殿
鑛業代理人
吉川茂
共同石灰
新島株式會社
入交
大兵衛



所業鉅吉曰 社炭石同共
鉅會式株業

日吉鉾業所

図 係 関 区 鉉

緒尺五千分之二

代表取締役 入交 太兵衛
代表取締役 吉川 茂明

渡辺 稲築炭田
採登1号

共同石炭 日吉炭鉱
採登 1278号

古河 下山田炭鐵
採鑛 1096 号

相登 734号

根登乃平路已修

租登755号

第一系生炭鈣
採登2490号

租卷才755号
(增 00)

炭層內試

[illegible]

現有祖鑑巨內誤

姓名	区域	探採位置
張金 5.14号 (6月11日)	① 水磨河上游 ② 上游河套	北谷上又磨河 北谷上又磨河
張金 6.8号 (6月17日)	北谷上又磨	張金(6.8号)到一號 ①、②
張金 7.3号 (6月22日)	水磨河下游河套	
張金 7.5号 (6月23日)	① 水磨河下游河套 ② 水磨河上游河套	

(註)

上唇厚 (表側)	上唇上へ天尺 上唇下へ天尺 上唇全厚尺 間 二 尺	下唇厚 (裏側)	下唇上へ天尺 下唇下へ天尺 下唇全厚尺 間 二 尺
-------------	------------------------------------	-------------	------------------------------------

組別	項目	組員姓名	組員數	時間	月日	結果
男子	100公尺	上野重雄 (獨走)	1	24.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	50.0	10月10日	第一名
男子	200公尺	上野重雄 (獨走)	1	50.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	1:45.0	10月10日	第一名
男子	400公尺	上野重雄 (獨走)	1	1:45.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	3:45.0	10月10日	第一名
男子	800公尺	上野重雄 (獨走)	1	3:45.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	7:45.0	10月10日	第一名
男子	1,600公尺	上野重雄 (獨走)	1	7:45.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	15:00.0	10月10日	第一名
男子	3,200公尺	上野重雄 (獨走)	1	15:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	30:00.0	10月10日	第一名
男子	6,400公尺	上野重雄 (獨走)	1	30:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	59:00.0	10月10日	第一名
男子	12,800公尺	上野重雄 (獨走)	1	59:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	1:18:00.0	10月10日	第一名
男子	25,600公尺	上野重雄 (獨走)	1	1:18:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	2:36:00.0	10月10日	第一名
男子	51,200公尺	上野重雄 (獨走)	1	2:36:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	5:12:00.0	10月10日	第一名
男子	102,400公尺	上野重雄 (獨走)	1	5:12:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	10:24:00.0	10月10日	第一名
男子	204,800公尺	上野重雄 (獨走)	1	10:24:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	20:48:00.0	10月10日	第一名
男子	409,600公尺	上野重雄 (獨走)	1	20:48:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	41:36:00.0	10月10日	第一名
男子	819,200公尺	上野重雄 (獨走)	1	41:36:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	83:12:00.0	10月10日	第一名
男子	1,638,400公尺	上野重雄 (獨走)	1	83:12:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	166:24:00.0	10月10日	第一名
男子	3,276,800公尺	上野重雄 (獨走)	1	166:24:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	332:48:00.0	10月10日	第一名
男子	6,553,600公尺	上野重雄 (獨走)	1	332:48:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	665:36:00.0	10月10日	第一名
男子	13,107,200公尺	上野重雄 (獨走)	1	665:36:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	1,331:12:00.0	10月10日	第一名
男子	26,214,400公尺	上野重雄 (獨走)	1	1,331:12:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	2,662:24:00.0	10月10日	第一名
男子	52,428,800公尺	上野重雄 (獨走)	1	2,662:24:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	5,324:48:00.0	10月10日	第一名
男子	104,857,600公尺	上野重雄 (獨走)	1	5,324:48:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	10,649:36:00.0	10月10日	第一名
男子	209,715,200公尺	上野重雄 (獨走)	1	10,649:36:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	21,299:12:00.0	10月10日	第一名
男子	419,430,400公尺	上野重雄 (獨走)	1	21,299:12:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	42,598:24:00.0	10月10日	第一名
男子	838,860,800公尺	上野重雄 (獨走)	1	42,598:24:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	85,196:48:00.0	10月10日	第一名
男子	1,677,721,600公尺	上野重雄 (獨走)	1	85,196:48:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	170,393:36:00.0	10月10日	第一名
男子	3,355,443,200公尺	上野重雄 (獨走)	1	170,393:36:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	340,787:12:00.0	10月10日	第一名
男子	6,710,886,400公尺	上野重雄 (獨走)	1	340,787:12:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	681,574:24:00.0	10月10日	第一名
男子	13,421,772,800公尺	上野重雄 (獨走)	1	681,574:24:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	1,363,148:48:00.0	10月10日	第一名
男子	26,843,545,600公尺	上野重雄 (獨走)	1	1,363,148:48:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	2,726,297:36:00.0	10月10日	第一名
男子	53,687,091,200公尺	上野重雄 (獨走)	1	2,726,297:36:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	5,452,595:12:00.0	10月10日	第一名
男子	107,374,182,400公尺	上野重雄 (獨走)	1	5,452,595:12:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	10,905,190:24:00.0	10月10日	第一名
男子	214,748,364,800公尺	上野重雄 (獨走)	1	10,905,190:24:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	21,810,380:48:00.0	10月10日	第一名
男子	429,496,729,600公尺	上野重雄 (獨走)	1	21,810,380:48:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	43,620,761:36:00.0	10月10日	第一名
男子	858,993,459,200公尺	上野重雄 (獨走)	1	43,620,761:36:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	87,241,523:12:00.0	10月10日	第一名
男子	1,717,986,918,400公尺	上野重雄 (獨走)	1	87,241,523:12:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	174,483,046:24:00.0	10月10日	第一名
男子	3,435,973,836,800公尺	上野重雄 (獨走)	1	174,483,046:24:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	348,966,092:48:00.0	10月10日	第一名
男子	6,871,947,673,600公尺	上野重雄 (獨走)	1	348,966,092:48:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	697,932,185:36:00.0	10月10日	第一名
男子	13,743,895,347,200公尺	上野重雄 (獨走)	1	697,932,185:36:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	1,395,864,371:12:00.0	10月10日	第一名
男子	27,487,790,694,400公尺	上野重雄 (獨走)	1	1,395,864,371:12:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	2,791,728,742:24:00.0	10月10日	第一名
男子	54,975,581,388,800公尺	上野重雄 (獨走)	1	2,791,728,742:24:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	5,583,457,484:48:00.0	10月10日	第一名
男子	109,951,162,777,600公尺	上野重雄 (獨走)	1	5,583,457,484:48:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	11,166,914,969:36:00.0	10月10日	第一名
男子	219,902,325,555,200公尺	上野重雄 (獨走)	1	11,166,914,969:36:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	22,333,829,939:12:00.0	10月10日	第一名
男子	439,804,651,110,400公尺	上野重雄 (獨走)	1	22,333,829,939:12:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	44,667,659,878:24:00.0	10月10日	第一名
男子	879,609,302,220,800公尺	上野重雄 (獨走)	1	44,667,659,878:24:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	89,335,319,756:48:00.0	10月10日	第一名
男子	1,759,218,604,441,600公尺	上野重雄 (獨走)	1	89,335,319,756:48:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	178,670,639,513:36:00.0	10月10日	第一名
男子	3,518,437,208,883,200公尺	上野重雄 (獨走)	1	178,670,639,513:36:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	357,341,279,026:72:00.0	10月10日	第一名
男子	7,036,874,417,766,400公尺	上野重雄 (獨走)	1	357,341,279,026:72:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	714,682,558,052:144:00.0	10月10日	第一名
男子	14,073,748,835,532,800公尺	上野重雄 (獨走)	1	714,682,558,052:144:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	1,429,365,116,104:288:00.0	10月10日	第一名
男子	28,147,497,671,065,600公尺	上野重雄 (獨走)	1	1,429,365,116,104:288:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	2,858,730,232,208:576:00.0	10月10日	第一名
男子	56,294,995,342,131,200公尺	上野重雄 (獨走)	1	2,858,730,232,208:576:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	5,717,460,464,416:1,152:00.0	10月10日	第一名
男子	112,589,990,684,262,400公尺	上野重雄 (獨走)	1	5,717,460,464,416:1,152:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	11,434,920,928,832:2,304:00.0	10月10日	第一名
男子	225,179,981,368,524,800公尺	上野重雄 (獨走)	1	11,434,920,928,832:2,304:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	22,869,841,857,664:4,608:00.0	10月10日	第一名
男子	450,359,962,737,049,600公尺	上野重雄 (獨走)	1	22,869,841,857,664:4,608:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	45,739,683,715,328:9,216:00.0	10月10日	第一名
男子	900,719,925,474,099,200公尺	上野重雄 (獨走)	1	45,739,683,715,328:9,216:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	91,479,367,430,656:18,432:00.0	10月10日	第一名
男子	1,801,439,850,948,198,400公尺	上野重雄 (獨走)	1	91,479,367,430,656:18,432:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	182,958,734,861,312:36,864:00.0	10月10日	第一名
男子	3,602,879,701,896,396,800公尺	上野重雄 (獨走)	1	182,958,734,861,312:36,864:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	365,917,469,722,624:73,728:00.0	10月10日	第一名
男子	7,205,759,403,792,793,600公尺	上野重雄 (獨走)	1	365,917,469,722,624:73,728:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	731,834,939,445,248:147,456:00.0	10月10日	第一名
男子	14,411,518,807,585,587,200公尺	上野重雄 (獨走)	1	731,834,939,445,248:147,456:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	1,463,669,878,890,496:294,912:00.0	10月10日	第一名
男子	28,823,037,615,171,174,400公尺	上野重雄 (獨走)	1	1,463,669,878,890,496:294,912:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	2,927,339,757,780,992:589,824:00.0	10月10日	第一名
男子	57,646,075,230,342,348,800公尺	上野重雄 (獨走)	1	2,927,339,757,780,992:589,824:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	5,854,679,515,561,984:1,179,648:00.0	10月10日	第一名
男子	115,292,150,460,684,697,600公尺	上野重雄 (獨走)	1	5,854,679,515,561,984:1,179,648:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	11,709,359,031,123,968:2,359,296:00.0	10月10日	第一名
男子	230,584,300,921,369,395,200公尺	上野重雄 (獨走)	1	11,709,359,031,123,968:2,359,296:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	23,418,718,062,247,936:4,718,592:00.0	10月10日	第一名
男子	461,168,601,842,738,790,400公尺	上野重雄 (獨走)	1	23,418,718,062,247,936:4,718,592:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	46,837,436,124,495,872:9,437,184:00.0	10月10日	第一名
男子	922,337,203,685,477,580,800公尺	上野重雄 (獨走)	1	46,837,436,124,495,872:9,437,184:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	93,674,872,248,991,744:18,874,368:00.0	10月10日	第一名
男子	1,844,674,407,370,955,161,600公尺	上野重雄 (獨走)	1	93,674,872,248,991,744:18,874,368:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	187,349,744,497,983,488:37,748,736:00.0	10月10日	第一名
男子	3,689,348,814,741,910,323,200公尺	上野重雄 (獨走)	1	187,349,744,497,983,488:37,748,736:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	374,699,488,995,966,976:75,497,472:00.0	10月10日	第一名
男子	7,378,697,629,483,820,646,400公尺	上野重雄 (獨走)	1	374,699,488,995,966,976:75,497,472:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	749,398,977,991,933,953,952:150,994,944:00.0	10月10日	第一名
男子	14,757,395,258,967,641,292,800公尺	上野重雄 (獨走)	1	749,398,977,991,933,953,952:150,994,944:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	1,498,797,955,983,867,907,904:301,989,888:00.0	10月10日	第一名
男子	29,514,790,517,935,282,585,600公尺	上野重雄 (獨走)	1	1,498,797,955,983,867,907,904:301,989,888:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	2,997,595,911,967,735,815,808:603,979,776:00.0	10月10日	第一名
男子	59,029,581,035,870,565,171,200公尺	上野重雄 (獨走)	1	2,997,595,911,967,735,815,808:603,979,776:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	5,995,191,823,935,471,631,616:1,207,959,552:00.0	10月10日	第一名
男子	118,059,162,071,741,130,342,400公尺	上野重雄 (獨走)	1	5,995,191,823,935,471,631,616:1,207,959,552:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	11,990,383,647,870,943,263,232:2,415,919,104:00.0	10月10日	第一名
男子	236,118,324,143,482,260,684,800公尺	上野重雄 (獨走)	1	11,990,383,647,870,943,263,232:2,415,919,104:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	23,980,767,287,741,721,527,464:4,831,838,208:00.0	10月10日	第一名
男子	472,236,648,286,964,521,369,600公尺	上野重雄 (獨走)	1	23,980,767,287,741,721,527,464:4,831,838,208:00.0	10月10日	第一名
		上野重雄 (獨走)	1	47,961,534,575,483,443,054,928:9,663,676,416:00.0	10月10日	第一名
男子	944,473,296,573,929,042,739,200公尺	上野重雄 (獨走)	1	47,961,534,575,483,443,054,928:9,663,676,416		

第十六葉内 第三葉



地質圖

縮尺 三千分之一



鑄造権者 共同石灰鑄造株式會社
代表取締役 入交 太兵衛
錦茂理人 吉川 茂



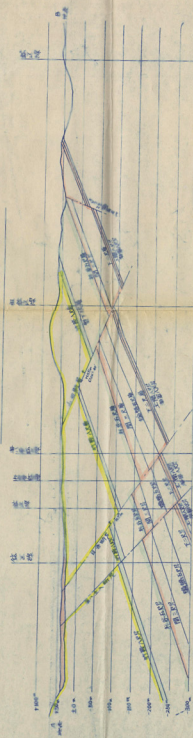
地 質 圖

縮尺 五千分一

代表取締役
佐藤 人



A~B 断面圖





第十六葉內 第四葉

炭層柱狀圖

縮尺 六十分之一

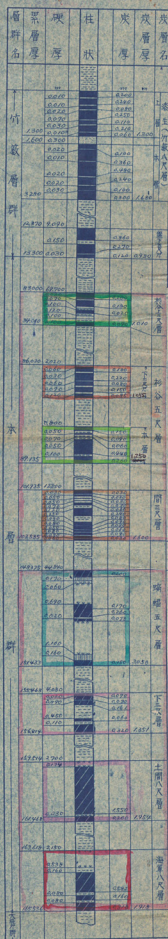
鑄造者 共同石炭業株式會社

代表取締役 入交 大兵衛

鑄造人 吉川 茂明



炭層柱狀圖 縮尺 1/50



竹藪境に於ける採掘目の炭層

砂谷二尺境に於ける採掘目の炭層

凡例

- 泥青炭
- ▨ 燐石
- ▤ 炭質頁岩
- ▥ 火成岩
- ▦ 砂岩
- ▧ 頁岩

第十六葉の内 第五葉



炭量計算圖

縮尺 三千分の一



錦糸町
雨籠橋番
共同石灰工業株式会社
炭取部役 入 交 大兵衛
總業代理人 吉川 茂明



炭業株式會社 共同石炭炭業株式會社
代表取締役 入 交 大 共 衡
監業代理人 吉 川 茂 明

炭量計算圖

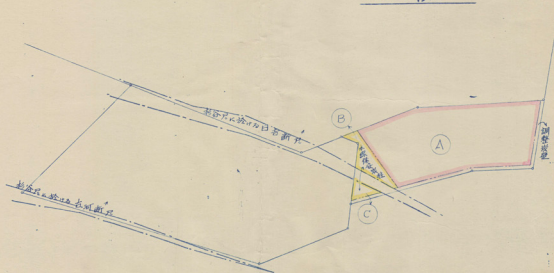
炭量計算表

面積計算はワットメーターによる。

坑名	炭層名	炭丈 (m)	比率	面積 (㎡)	埋藏 (t)	傾斜 (%)	傾斜 (%)	埋藏 (t)	埋藏 (t)	安全 (%)	安全 (%)	実収 (t)	実収 (t)
竹 炭 坑	杉谷上二尺層	2490	120	2697	27200	17.00	105.76	30.800	15500	90	17600	77	13500
	杉谷下二尺層	2715	-	2980	29200	-	-	30.800	28700	80	28000	30	6900
	杉谷水層	2950	-	1204	3700	-	-	3900	6000	80	4000	20	800
	崗三尺層	3300	-	1040	28900	-	-	30.600	31800	70	22200	73	16300
	計				91000			96100	84000		68800		37500
杉 谷 二 尺 坑	堀堀五尺層	2355	160	1373	50400	10.00	105.76	53.600	73600	30	22100	40	8800
	下二尺層	2681	-	1090	50400	-	-	53.600	50600	30	17600	40	7000
	土間八尺層	1750	-	2800	50400	-	-	53.600	150100	30	48300	72	32400
	海軍八尺層	1060	-	1696	50400	-	-	53.600	90900	30	27300	72	19700
	計				201600			214400	373100		112500		67900
合 計					292600			310500	458100		178300		105400

杉谷上二尺層 炭量計算圖

縮尺三十分之一



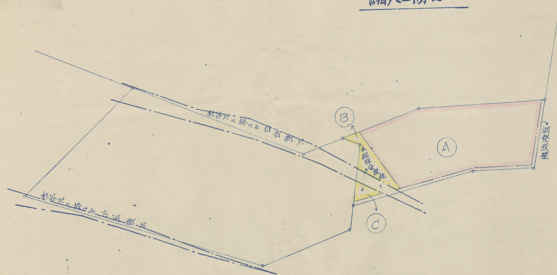
炭量計算表

面積はアウトライトによる

區別	炭丈	比重	断面面積 当炭量	埋藏 量 平面積	傾斜 率 %	埋藏断面面積	埋藏炭量 (t)	品位 (%)	安全炭量 (t)	炭水率 (%)	炭収炭量 (t)
(A)	2.470	1.30	0.637	26.200	10.5%	27.700	17.600	90	15.800	80	12.600
(B)	"	"	"	2.300	"	2.400	1.500	90	1.400	50	700
(C)	"	"	"	700	"	700	400	90	400	50	200
計				28.200		30.800	19.500		17.600		13.500

杉谷下二層炭量計算圖

縮尺三十分之一



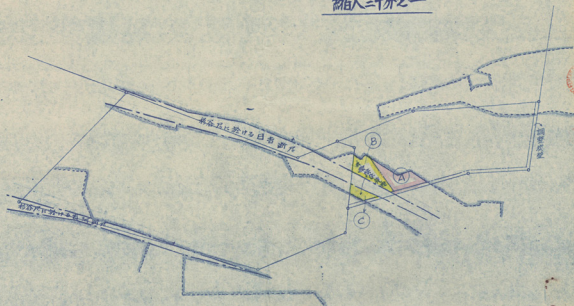
炭量計算表

面積は772.5 x 1.5 = 1158.75

区域	炭丈	比重	断面面積 (㎡)	炭層 厚面積 (㎡)	炭層 厚面積 (㎡)	炭層 厚面積 (㎡)	炭層 厚面積 (㎡)	安全率	安全炭量 (t)	炭層 厚面積 (㎡)	炭層 厚面積 (㎡)
(A)	175	1.30	2330	26.200	10576	257200	25.800	80	20600	30	6200
(B)	"	"	"	2300	"	2400	2200	80	1800	30	500
(C)	"	"	"	700	"	700	700	80	600	30	200
計				29200	30800	28700	28000		28000		6900

杉谷本層 炭量計算圖

縮尺三十分之一



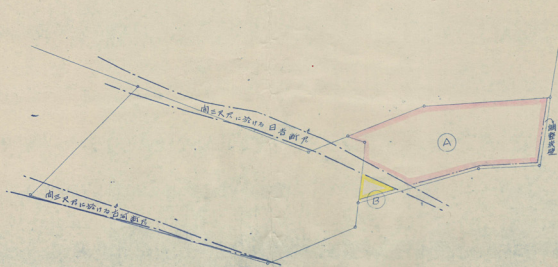
炭量計算表

面積は、300平方メートル

区別	炭丈	比重	推定面積 (㎡)	推定炭量 (t)	推定炭量 (t)	推定炭量 (t)	安全炭量 (t)	安全炭量 (t)	炭水炭量 (t)
(A)	0.80	1.30	1.274	1.500	10376	1.600	2.400	80	300
(B)	"	"	"	1.600	"	1.700	2.200	80	1.800
(C)	"	"	"	600	"	600	800	80	600
計				3700	2900	5000		4000	800

間三尺層 炭量計算圖

縮尺三十分之一



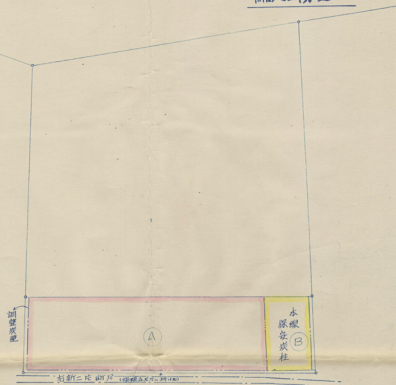
炭量計算表

面積は7500㎡×1000倍

区域別	炭丈 (m)	比重	断面面積 (㎡)	埋藏 炭量 (t)	傾斜 係数 (%)	埋藏断面積 (㎡)	埋藏炭量 (t)	還元率 (%)	安全炭量 (t)	還元率 (%)	安全炭量 (t)
(A)	0.800~1.20	1.400	20.800	11576	28.400	30.600	70	21.400	75	16.100	
(B)	-	-	1.100	-	12.00	12.00	70	8.00	30	2.00	
計				20.900		30.600	31.00	22.200		16.300	

蝙蝠五尺層 炭量計算圖

縮尺三十分之一



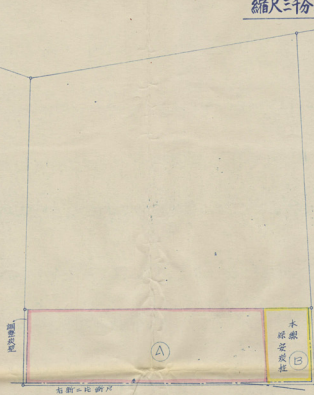
炭量計算表

面積是 17.7 平方公尺

區域別	炭大 (mm)	比重	單位面積 炭量 (kg)	埋藏 面積 (m ²)	總炭 量 (kg)	埋藏炭量 (kg)	安全炭量 (kg)	家小炭 (kg)	家小炭量 (kg)
A	1050	1.60	1073	43.940	4642	45.100	1.900	40	7400
B	"	"	"	3.000	"	3.500	3.0	3.500	1400
計				50.400	50.400	73.600	22.100	8.800	

下二尺層 炭量計算圖

縮尺三十分之一



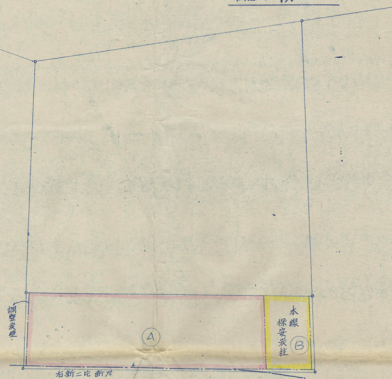
炭量計算表

面積係7500メ-7500

区域別	炭文	位置	單位面積 炭量 (kg)	總面積 平方公尺 (m ²)	總炭量 (kg)	傾斜面積 (m ²)	傾斜炭量 (kg)	安全炭量 (kg)	安全炭量 (kg)	傾斜率 (%)	實炭量 (kg)
(A)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
(B)	"	"	"	8000	"	8000	2000	2000	2000	2000	1000
計				80400	80600	80500	17600	7000			

土間八尺層 炭量計算圖

縮尺三千分之一



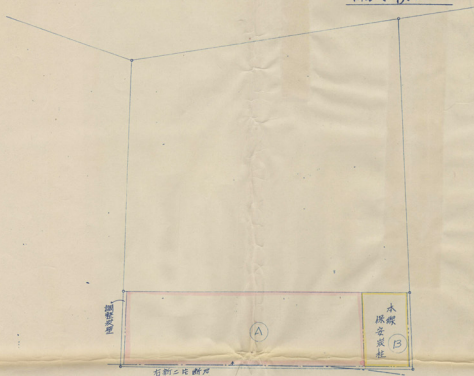
炭量計算表

面積は $\frac{1}{2} \times 7 \times 4 = 14$

區域	成大	比重	現金流量 (元)	現金流量 折現值 (元)	現金流量 折現值 (元)	現金流量 (元)	現金流量 (元)	現金流量 (元)	現金流量 (元)	
(A)	(元)	(%)	(元)	(元)	(元)	(元)	(元)	(元)	(元)	
(A)	1,750	16.0	2,800	142,400	126,920	126,920	3.0	3,750	90	33,330
(B)	-	-	8,000	-	8,500	23,800	3.0	7,100	30	7,100
計			50,400		53,600	150,000		45,000		33,330

海軍八尺層 炭量計算圖

縮尺三十分之一



炭量計算表

面積 770.2 x 41.2

區域	炭丈	比率	調整面積 (sq)	埋藏 面積 (sq)	埋藏 總數 (sq)	埋藏面積 (sq)	埋藏炭量 (kg)	安全炭量 (kg)	安全炭量 (kg)	安全炭量 (kg)	安全炭量 (kg)
A	1.06	1.60	1.696	42.400	44.096	44.100	76.500	30	28.000	30	18.400
B	-	-	-	3.000	-	3.500	12.400	30	4.300	30	1.300
計				53.400		53.600	20.700	27.300			19.700

第八葉の内 第四葉（その一）

探掘計画圖

縮尺三千分の一



調査者

代表取締役

調査代理人

共同石炭調査株式会社

入文太兵衛

吉川茂明



福岡県嘉穂郡稲築町大字才田本谷二六ノ一

(稲築局区内)

共同石炭
鋳業株式会社

目吉鋳業所

電話 稲築四三〇番
大隈一一番

昭和 年 月 日

第十六葉の内 第六葉 竹藪坑 杉谷層 探掘計画圖 縮尺三千分ノ一

第七葉 竹藪坑 間三入層 探掘計画圖 縮尺三千分ノ一

第八葉 杉谷二尺坑 蝙蝠層 探掘計画圖 縮尺三千分ノ一

第九葉 杉谷二尺坑 土間層 探掘計画圖 縮尺三千分ノ一

第十葉 坑 外 圖 縮尺三千分ノ一

第十六葉内 第六葉



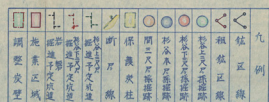
竹藪坑
杉谷屋 採掘計画圖 縮尺三千分之二



鑛床推省 共同石灰鑛業株式會社
代表取締役 入交 大兵衛
鑛業代理人 吉川 茂



鉦業権者 共同石炭鉦業株式会社
租鉦権者
代表取締役 入 交 太 兵 衛
鉦業代理人 吉 川 茂 明



第十六葉の内 第七葉



竹藪坑
間三尺層
採掘計画圖
縮尺三千分の一



銅葉模写
用銅葉者
伏表感謝
銅葉代買人
吉川茂明

共同石炭鑛業振興會社

入交大兵衛

吉川茂明



第十六葉。肉。第八葉



杉谷三太郎
編輯層
下二層

採掘計画圖

縮尺 三千分の一



銅葉權者 共同石炭礦業株式會社
祖銅權者 伏見銅鐵
銅葉代理人 吉川茂
所



杉谷二尺坑 (下 二 尺 層)

採掘計畫圖 縮尺三千分一

採登第1278號

祖登第614號

租登第 734 號

九	𠂇	𠂈	𠂉	𠂊	𠂋	𠂌	𠂍	𠂎	𠂏	𠂐	𠂑	𠂒	𠂓	𠂔	𠂕	𠂖	𠂗	𠂘	𠂙	𠂚	𠂛	𠂜	𠂝	𠂞	𠂟	𠂠	𠂡	𠂢	𠂣	𠂤	𠂥	𠂦	𠂧	𠂨	𠂩	𠂪	𠂫	𠂬	𠂭	𠂮	𠂯	𠂰	𠂱	𠂲	𠂳	𠂴	𠂵	𠂶	𠂷	𠂸	𠂹	𠂺	𠂻	𠂼	𠂽	𠂾	𠂿	𠃀	𠃁	𠃂	𠃃	𠃄	𠃅	𠃆	𠃇	𠃈	𠃉	𠃊	𠃋	𠃌	𠃍	𠃎	𠃏	𠃐	𠃑	𠃒	𠃓	𠃔	𠃕	𠃖	𠃗	𠃘	𠃙	𠃚	𠃛	𠃜	𠃝	𠃞	𠃟	𠃠	𠃡	𠃢	𠃣	𠃤	𠃥	𠃦	𠃧	𠃨	𠃩	𠃪	𠃫	𠃬	𠃭	𠃮	𠃯	𠃰	𠃱	𠃲	𠃳	𠃴	𠃵	𠃶	𠃷	𠃸	𠃹	𠃺	𠃻	𠃼	𠃽	𠃾	𠃿	𠄀	𠄁	𠄂	𠄃	𠄄	𠄅	𠄆	𠄇	𠄈	𠄉	𠄊	𠄋	𠄌	𠄍	𠄎	𠄏	𠄐	𠄑	𠄒	𠄓	𠄔	𠄕	𠄖	𠄗	𠄘	𠄙	𠄚	𠄛	𠄜	𠄝	𠄞	𠄟	𠄠	𠄡	𠄢	𠄣	𠄤	𠄥	𠄦	𠄧	𠄨	𠄩	𠄪	𠄫	𠄬	𠄭	𠄮	𠄯	𠄰	𠄱	𠄲	𠄳	𠄴	𠄵	𠄶	𠄷	𠄸	𠄹	𠄺	𠄻	𠄼	𠄽	𠄾	𠄿	𠅀	𠅁	𠅂	𠅃	𠅄	𠅅	𠅆	𠅇	𠅈	𠅉	𠅊	𠅋	𠅌	𠅍	𠅎	𠅏	𠅐	𠅑	𠅒	𠅓	𠅔	𠅕	𠅖	𠅗	𠅘	𠅙	𠅚	𠅛	𠅜	𠅝	𠅞	𠅟	𠅠	𠅡	𠅢	𠅣	𠅤	𠅥	𠅦	𠅧	𠅨	𠅩	𠅪	𠅫	𠅬	𠅭	𠅮	𠅯	𠅰	𠅱	𠅲	𠅳	𠅴	𠅵	𠅶	𠅷	𠅸	𠅹	𠅺	𠅻	𠅼	𠅽	𠅾	𠅿	𠆀	𠆁	𠆂	𠆃	𠆄	𠆅	𠆆	𠆇	𠆈	𠆉	𠆊	𠆋	𠆌	𠆍	𠆎	𠆏	𠆐	𠆑	𠆒	𠆓	𠆔	𠆕	𠆖	𠆗	𠆘	𠆙	𠆚	𠆛	𠆜	𠆝	𠆞	𠆟	𠆠	𠆡	𠆢	𠆣	𠆤	𠆥	𠆦	𠆧	𠆨	𠆩	𠆪	𠆫	𠆬	𠆭	𠆮	𠆯	𠆰	𠆱	𠆲	𠆳	𠆴	𠆵	𠆶	𠆷	𠆸	𠆹	𠆺	𠆻	𠆼	𠆽	𠆾	𠆿	𠇀	𠇁	𠇂	𠇃	𠇄	𠇅	𠇆	𠇇	𠇈	𠇉	𠇊	𠇋	𠇌	𠇍	𠇎	𠇏	𠇐	𠇑	𠇒	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	𠇳	𠇴	𠇵	𠇶	𠇷	𠇸	𠇹	𠇺	𠇻	𠇼	𠇽	𠇾	𠇿	𠈀	𠈁	𠈂	𠈃	𠈄	𠈅	𠈆	𠈇	𠈈	𠈉	𠈊	𠈋	𠈌	𠈍	𠈎	𠈏	𠈐	𠈑	𠈒	𠈓	𠈔	𠈕	𠈖	𠈗	𠈘	𠈙	𠈚	𠈛	𠈜	𠈝	𠈞
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

第十六葉の内 第九葉



杉谷尺坑
土間層
海八層

採掘計画圖

縮尺 三千分の一



調査者 共同石灰製造株式会社
掘進者 伏見取神殿
入交 大兵衛
吉川 茂明



第十六葉内 第十葉



坑外圖

縮尺 三千分之一



鑛業堆積
租鑛權者
共同石炭鑛業株式會社
代表取締役
吉川茂明



縮尺三千分、一



									
大	市	通	道	地	河	昆	坑	臨	鐵
字	町	庚		形	川	內	所	區	區
菜	菜	線		源	及	東	東	東	東
線	線	路	路	源	池	家	唯	線	線

福岡県嘉穂郡稲築町大字才田本谷三二六ノ一

(稲築局区内)

共同石炭

鉱業株式会社

日吉鉱業所

電話

稲築四三〇番
大限一 一番

昭和 年 月 日

第十六葉の内第十一葉

拂規格圖

第十二葉

坑道規格圖

第十三葉

通気排水運搬系統圖

縮尺三千分ノ一

第十四葉

選炭系統圖

第十五葉

竹籤坑
坑道断面圖

縮尺三千分ノ一

第十六葉

杉谷二尺坑
坑道断面圖

縮尺三千分ノ一

竹籤坑(杉谷尺間三尺)

沈下計算図

第十六葉の内 第十一葉



拂
規
格
圖



協賛 協賛
共同石炭業株式會社
入交 太共衛
吉川 茂 明



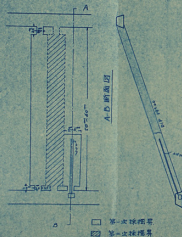
拂規格図

縮尺 1/500

建築監督 共済石炭礦業株式會社
代表取締役 入交 太兵衛
繪圖代取 吉川 茂明

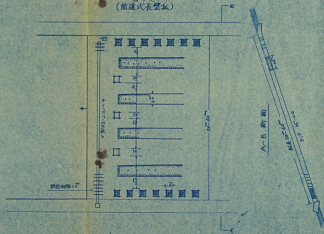
柱房式板規橋図

形谷本尺



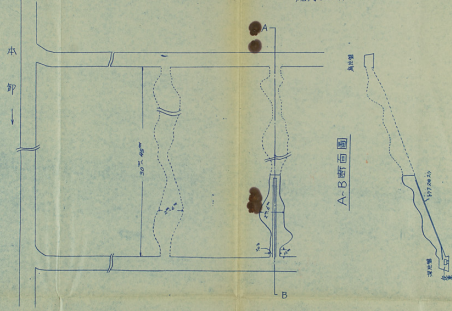
板規橋図

柱長上二尺五寸
柱長下二尺五寸
柱径 一尺五寸
(前建式表壁板)



土間層(燐石)採炭規格圖

縮尺 300 分の 1



第十六葉内 第十三葉

坑道規格圖



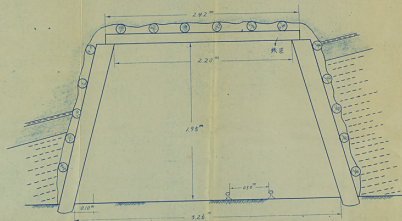
建築業者
担負者
共同
行役
建築業株式會社

代表取締役
入交大兵衛

錦葉代理
吉川茂明

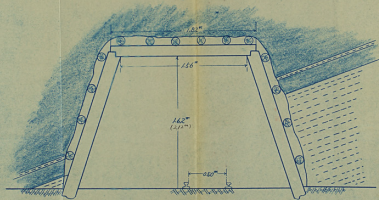
(竹藪坑、杉谷=大坑) 本卸及排氦卸 坑道規格圖

沼澤坑道の場合



片礫坑道規格圖

沿層坑道の場合



第十六葉の内 第十三葉



通排運
気水源
系
統
圖

縮尺三千分の一



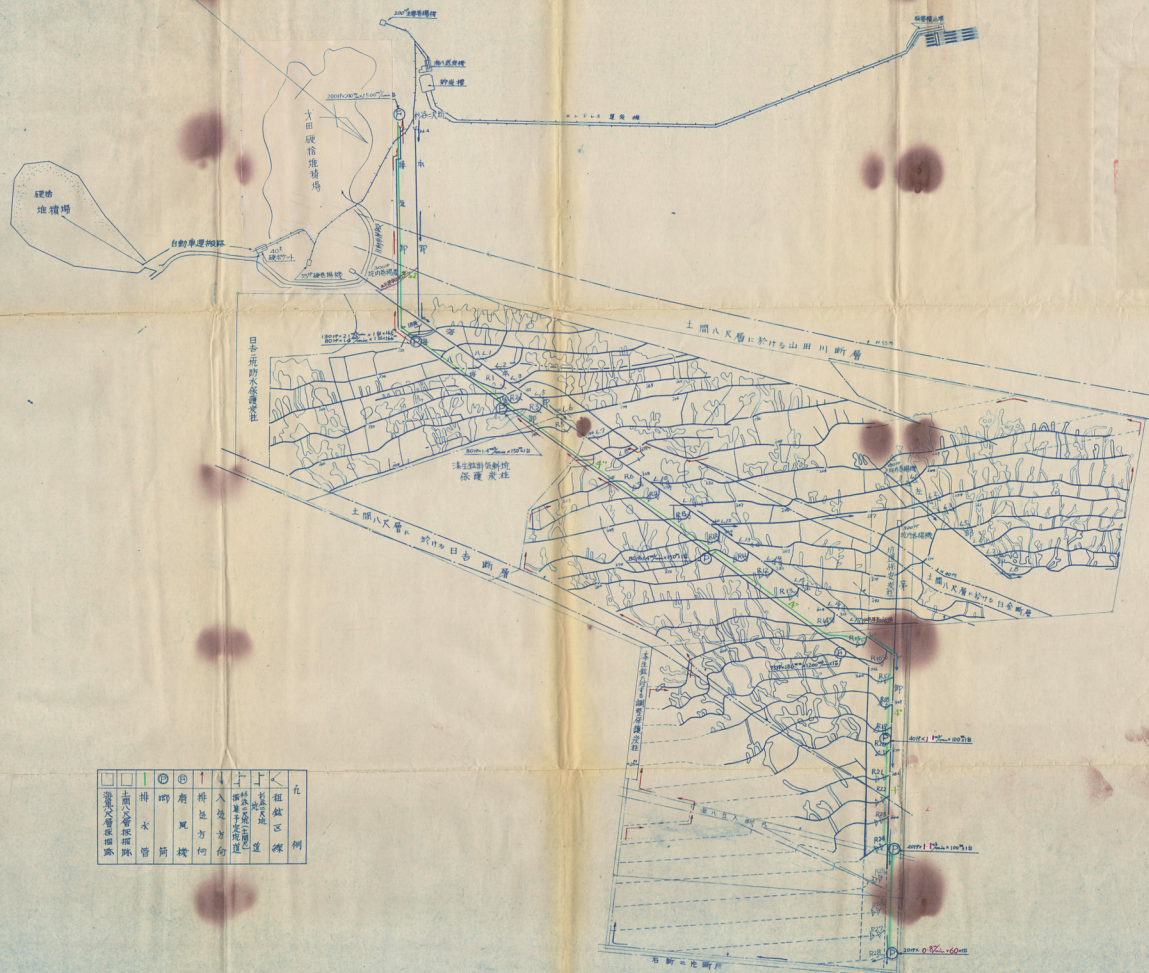
鑄造権者 共同石炭煉炭株式會社
代表取締役 入交 太兵衛
總代理 吉川 茂明



通氣.排水.運搬系統圖

縮尺 三千分の一

代表取締役 佐々木 孝
代表取締役 佐々木 孝
代表取締役 佐々木 孝



								九
海鏡穴腎經臨臑	土關八會探腋脉	拇水管	郄	肩風機	拊趾方向	入髮方向	粗紋區線 光二(主)旋道	例

第十六葉内
第十五葉



竹箴坑坑道斷面圖
縮尺三千分之一



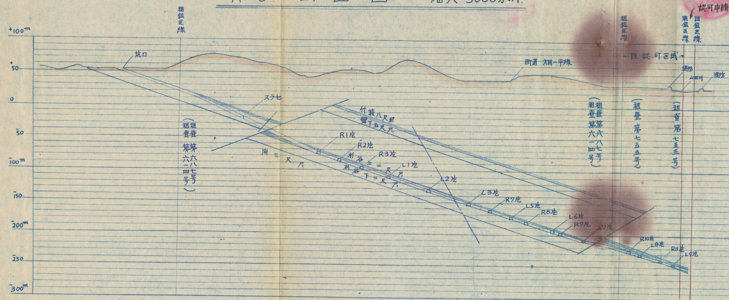
鑄造機若
租鑄機若
共同石炭鑄造株式會社

伏見縣役
入交太兵衛

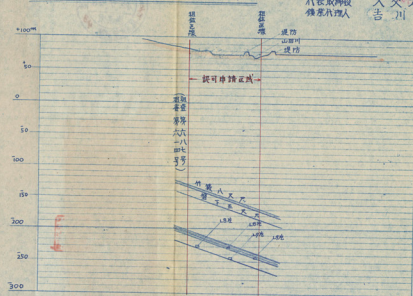
鑄造機
吉川茂明



A-B 断面圖 縮尺 3000分の1



C-D 断面圖 縮尺 3000分の1



建築標準
招標標準
代表取締役
建築代理人
共同石灰株式会社
入交 太兵衛
吉川 茂明

第十六葉
第十六葉



杉谷城
抗道断面圖
縮尺三千分之二



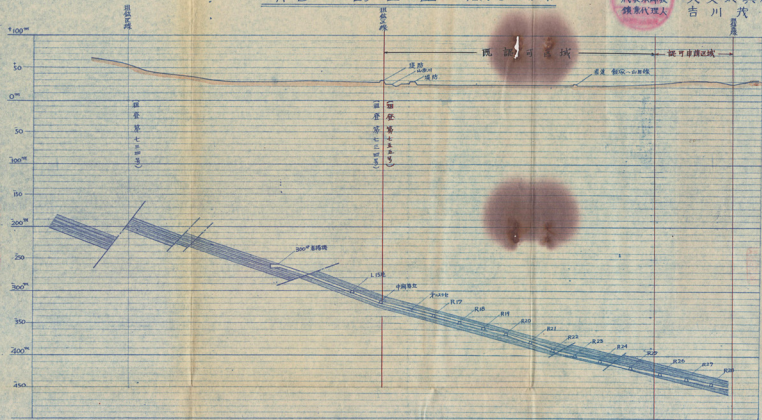
錦糸燈台
租銀機石
共同石炭鑑業株式會社
入交 太兵衛
錦糸代理人
吉川 茂



A-B 断面图 縮尺 3000分の1

銅炭鑛
主權者
代表取締役
鑛業代理人

共同石炭鑛業株式會社
入交太兵衛
吉川茂明



航测已记录资料

第一次区域 竹箴坑

标高上=RR
下=RR
向=RR

S.Y. 7.26 1952

(合成水下等高线图)

$$S = \frac{1}{3000}$$

①



米=次已域 竹籤坑 (杉各上=RR'
 全下=RR'
 (合成次下等高線圖)

$$S = \frac{1}{3.020}$$

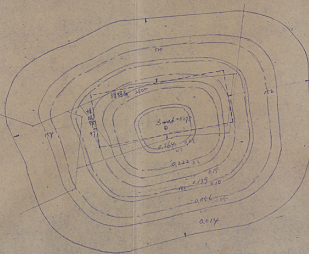
(2)



第=次区域 竹叢坑 (杉谷上=RR)

(沈平等高線圖) $S = \frac{1}{3000}$

(3)



Eの計算

$$DR = \frac{m+7.8}{2} = 17.4 \text{ 計算 } 7.7 =$$

$$\text{垂直側 } CR = \frac{m+7.8}{2} = 17.4 \text{ 計算 } 2.0 =$$

$$\text{計算 } 7.7/17.4 = 0.443 \div 0.67$$

$$\text{計算 } 2.0/17.4 = 0.115 \div 1.62$$

$$\text{計算 } 0.115 \div 0.6 = 0.192 \text{ 計算 } 1.62 \div 0.6 = 2.7$$

$$E = 0.53$$

$$S \text{ の計算 } S = E - 1.2 = 1.1 - 1.2 = -0.1$$

$$S_{max} = 0.53 \times 1.01 = 0.535$$

$$(1.2 \div 1.1 = 1.09)$$

地下水位

$$1.0 \div 1.1 = 0.91$$

$$1.1 \div 1.1 = 1.0$$

$$1.2 \div 1.1 = 1.09$$

$$1.3 \div 1.1 = 1.18$$

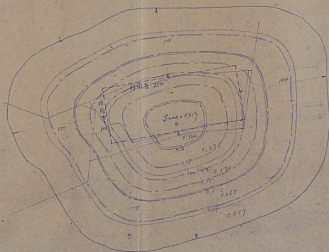
$$1.4 \div 1.1 = 1.27$$

$$1.5 \div 1.1 = 1.36$$

水 = 水包坑 (間≒R.R.)
(決下等沿線同)

$$S = \frac{1}{3.000}$$

(5)



E = 計算
 傾斜 M DR: $\frac{1.15 \times 1.15}{2} = 0.64$ 傾斜中 100
 走向 M SF: $\frac{1.15 \times 1.15}{2} = 0.64$ 傾斜長 250
 傾斜 M $100/100 = 0.64$
 走向 M $250/100 = 2.50$
 即 D M 0.6 S M 1.5
 E = 0.53

S 計算 S = E m A Z. M = 160
 $S_{max} = 0.53 \times 160 \times 0.4 = 0.337$
 (2.25m 10-25m 10-25m)

決下等沿線

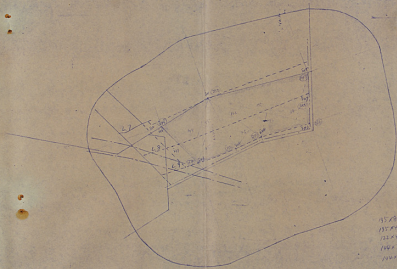
水	水
水 100	0.337
水 10	0.322
水 20	0.297
水 30	0.170
水 40	0.068
水 50	0.017

次=次已域 竹籤坑 (杉路上=RR)

$$S = \frac{1}{3000}$$

1010

(6)



15.160
11.111
11.111
11.111
11.111
11.111

$$\frac{48.705}{2} = 24.3525$$

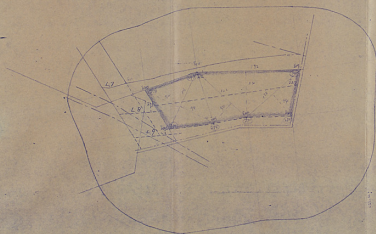
才 = 次区域 竹藪坑 (杉谷下 = R.R.)

$$S = \frac{1}{3000}$$

0.2 1.055

(7)

6.6
8.0
12.0



12.0 16.128
12.0 16.128
12.0 16.100
12.0 16.120
12.0 16.122

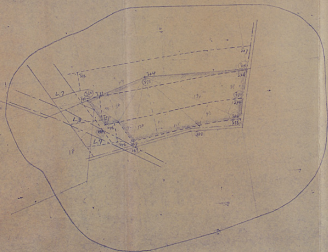
$$\frac{45.828}{5} = 9.1656$$

水=次已域 竹藪坑 (同≡R.R.)

$$S = \frac{1}{2000}$$

8

0.2 1.60



$$\begin{aligned} 144 \times 85 &= 12240 \\ 1500 \times 12 &= 18000 \\ 125 \times 100 &= 12500 \\ 110 \times 32 &= 3520 \\ 119 \times 54 &= 6426 \\ 78 \times 18 &= 1404 \end{aligned}$$

$$\frac{50294}{2} = 25147$$

杉谷二尺坑

深部第一卸

右部古洞

(泰生銘)

関係図

排水

5000

日吉奥能
才一添生奥能
山野奥能

土向八尺
海軍八尺

古洞開採圖

繪文 12 5000

RR. 42. 7 24 於古洞開採圖



福岡県嘉穂郡稲築町大字才田本谷三二六ノ一

(稲築局区内)

共同石炭

鉱業株式会社

目吉鉱業所

電話

稲築四三〇番
大隈一一番

昭和
年
月
日

